

“ 未来を創るベンチャーECO システムの模索 ～キャズムを越える～ ”

第 18 回 ベンチャー・プライベート・カンファレンス in 慶應義塾大学 (三田キャンパス 東館 8F)

9 月 30 日(水)	10 月 1 日(木)
受付 (8:30～)	受付 (8:30～)
9:15～9:45 AM <<オープニングリマークス>> 『未来を創る産学官 創業ベンチャーECO システム』 慶應義塾大学 知的資産センター所長 羽鳥 賢一 慶應義塾大学 ビジネススクール教授 河野 宏和 NTVP 代表 村口 和孝	9:00～9:10AM 主催者挨拶 9:10～9:40AM <<講演>> 『来たれ NYSE へ！ 日本のベンチャー上場への期待』 NYSE Euronext 国際上場 アジア・太平洋地域担当 執行役員 春日 尚義 氏
9:45～10:45AM <<プレゼンテーション+座談会>> 『デジタル TV サービスの未来』 慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 特別招聘教授 夏野 剛 氏 ジャパンケーブルキャスト株式会社 取締役 前田 陽介氏 株式会社 PTP 代表取締役社長 有吉 昌康 氏 [モデレーター]NTVP 代表 村口 和孝	9:40～11:30AM <<パネルディスカッション>> 『食文化とネットの意外な関係』 クックパッド株式会社 代表執行役 佐野 陽光 氏 株式会社クオカプランニング 代表取締役社長 斎藤 賢治 氏 ワイン蔵 TOKYO 支配人 中川 正光 氏 [モデレーター]慶應義塾大学インキュベーションセンター所長 國領 二郎
休憩 (5 分)	昼食休憩 (30 分)
10:50～0:35PM <<プレゼンテーション+座談会>> 『キャズムを越える顧客志向の製品開発』 株式会社ブシロード 代表取締役社長 木谷 高明 氏 株式会社ウォーターダイレクト 代表取締役社長 栗井 英朗 氏 株式会社カンキョー 代表取締役 田才 昭二 氏 株式会社 TAKIZAWA OFFICE 代表取締役社長 滝沢 直己 氏 株式会社ブイキューブ 代表取締役社長 間下 直晃 氏 [モデレーター]NTVP 代表 村口 和孝	12:00～1:30PM <<講演>> 『ロシアから見た世界史的变化と今後の 10 年』 小林 和男 氏 元 NHK モスクワ支局長、ジャーナリスト 作新学院大学教授
昼食休憩 (25 分)	休憩 (10 分)
1:00～3:00PM <<プレゼンテーション+座談会>> 『世界で奮闘するバイオテック・ベンチャー ～日本と米国の視点から～』 ACUCELA Inc. CEO 窪田 良 氏 株式会社レグイミュン 代表取締役 CEO 森田 晴彦 氏 株式会社シグナル・クリエーション 取締役 柴原 聖至 氏 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 代表取締役 菅野 隆二 氏 [モデレーター]慶應義塾大学 知的資産センター所長 羽鳥 賢一	1:40～3:40PM <<プレゼンテーション+座談会>> 『次世代技術が未来を拓く』 株式会社インターネット総合研究所 代表取締役所長 藤原 洋 氏 株式会社アキブシステムズ CTO 中山 秀人 氏 株式会社ザクセル 代表取締役 鈴木 則久 氏 スパイバー株式会社 代表取締役会長 中山 佳久 氏 ナイトライド・セミコンダクター株式会社 代表取締役 村本 宜彦 氏
休憩 (20 分)	休憩 (20 分)
3:20～5:20PM <<プレゼンテーション+座談会>> 『スマートフォンの未来, ガラパゴスを越えて』 株式会社アクロディア 代表取締役社長 堤 純也 氏 インフォテリア株式会社 代表取締役社長 平野 洋一郎 氏 [モデレーター]NTVP 代表 村口 和孝	4:00～5:30PM <<座談会>> 『ベンチャーキャピタリストが語り合う IV ～金融危機後を見すえたVC投資戦略～』 九州ベンチャーパートナーズ株式会社 取締役 水口 啓 氏 インフィニティ・ベンチャーズLLP 代表パートナー 小林 雅 氏 [司会] NTVP 代表 村口 和孝
5:30～6:30PM <<特別イベント>> 慶應ビジネススクール特別セッション 『DeNA はどうやってキャズムを越えたか』 株式会社ディー・エヌ・エー 取締役 川田 尚吾 氏	<<クロージング>>

- ・プログラムは変更となる可能性があります。最新のプログラムはウェブサイト (<http://www.ntvp.com>) に掲載いたしますので、ご来場の前にご確認をお願いいたします。
- ・会場での撮影・録音はご遠慮願います。

●ジャパンケーブルキャスト株式会社

通信衛星を利用したケーブルテレビ局向けの映像、音声、データ配信を軸とした多チャンネル配信プラットフォームサービスを展開。
<http://www.cablecast.co.jp/>



●株式会社PTP

最大8チャンネル最長2週間分のTV番組を自動録画する画期的なレコーダー「SPIDER PRO」を開発・販売する。録り貯めた膨大な番組やCMを検索し、ピンポイントでの頭出し再生が可能。約300社の企業で採用され、広報・宣伝・マーケティングのプロが毎日使っている。
<http://www.ptp.co.jp/> <http://spider8.jp>



●株式会社ブシロード

カードゲームの開発・発売をはじめ、ゲームソフトの開発・発売、オンラインゲームの企画・運営業務を展開。
 特に、キャラクタートレーディングカードゲームの開発に力を入れている。
<http://bushiroad.com/>



●株式会社ウォーターダイレクト

従来、不可欠であったボトルの回収・洗浄が不要な「ワンウェイ方式」でミネラルウォーター宅配事業に革命を起こしている。富士山の自社工場で採水した、いま話題のパナジウムを豊富に含むプレミアム天然水『CLYTIA (クリティア) 25』を家庭・オフィスに工場から直送し、冷温両用のウォーターサーバーとともに提供。新商品開発のほか、業界で初めてボトルの素材にPET樹脂を採用するなど、環境への配慮も徹底している。
<http://www.waterdirect.jp>



●株式会社カンキョー

住環境の改善というテーマを多方面から考えた“他者にはマネできない”商品を開発・販売。代表的な商品は軽量ファンレス空気清浄機“クリアベール”、除湿乾燥機という新しいジャンルを生み出した“コンデンス除湿機”等がある。
<http://www.kankyo-new.com/>



●株式会社TAKIZAWA OFFICE

著名アパレルブランド「イッセイミヤケ」の元クリエイティブディレクター、滝沢直己による服飾・雑貨等のデザイン・企画およびコンサルティング。
 “日本のハイテク素材や伝統的技術”をデザインやビジネスに活かすことを強みとしている。子会社で「NAOKI TAKIZAWA」ブランドのコレクションをベースにアパレルの企画販売を展開。
<http://www.naokitakizawa.com/>



●株式会社ブイキューブ

離れた場所同士で映像・音声・マルチメディアコンテンツを伝達可能なビジュアルコミュニケーションツールを提供。これにより距離と時間の壁を越え、人と人とのコミュニケーションを安価に提供。代表的なサービスは nice to meet you for ミーティング、nice to meeting for セミナーなど。
<http://www.vcube.co.jp/>



●ACUCELA Inc.

臨床開発ステージの眼科疾患に特化したシアトル郊外に設立されたバイオベンチャー。探索研究から自前で行う研究開発型のグローバルバイオベンチャーである。大塚製薬と高齢者の失明原因のトップである黄斑変性症治療薬「ACU-4429」とドライアイ治療薬「レバミピド点眼」に関して、総額250億円強の共同開発販売契約を2008年に締結。糖尿病性網膜症等に対する治療薬も開発中。
<http://www.acucela.com>



●株式会社レグイミュン

免疫制御技術をベースにアレルギー、移植、自己免疫疾患治療薬を開発する創薬バイオベンチャー。特定の免疫反応だけを選択的に抑制することにより、これまでの免疫抑制剤の問題点であった広範な免疫抑制による感染やガンリスクを解消。スギ花粉の治療薬などを開発中。
<http://www.regimmune.com/>

REGIMMUNE

●株式会社シグナル・クリエーション

慶應発の創薬を指向するベンチャー企業。メディシナル・ケミストリーと分子生物学をコア技術として、新たなターゲットに対するリード化合物の創製・開発を行う。
<http://www.signalcreation.com/>


Signal Creation Inc.

●ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

CE-MS によるメタボロームの受託解析を行っており、製薬・医療・食品・化学など多岐にわたる分野で顧客の研究開発を支援。バイオマーカー探索においては独自に開発を行い、有望なマーカーの選出に成功している。
<http://humanmetabolome.com/>


HMT

●株式会社アクロディア（東証マザーズ 3823）

モバイル端末のミドルウェア技術などソフトウェアの研究開発を行う技術集団。特にユーザーと端末との間を繋ぐ様々なインターフェース技術にフォーカスし、ユーザーインターフェース技術およびメール拡張技術などを市場に提供。モバイルプラットフォームのインターフェースをより使いやすくするためにも欠かせない、グラフィック性能の向上に関する研究開発にも力を注ぐ。日本のみならず、韓国やヨーロッパ、北米などグローバルな市場で営業活動を展開している。
<http://www.acrodea.co.jp/>

 ACRODEA

●インフォテリア株式会社（東証マザーズ 3853）

XML 技術をベースに、さまざまなデータ交換・システム連携を容易に実現するソフトウェアの開発・販売を行う。主力製品のパッケージソフト「ASTERIA」は導入実績 780 社を超え、現在 3 年連続で国内 EAI 製品シェア No.1。XML 技術者の教育事業やネットサービス（SaaS）事業も展開している。
<http://www.infoteria.com/>


infoteria
The Information Cafeteria

●株式会社ディー・エヌ・エー（東証一部 2432）

1999 年オークション&ショッピングサイト「ビidders」のサービスをスタートし、2004 年には、ケータイオークションサイト「モバオク」、アフィリエイトネットワーク「ポケットアフィリエイト」などのモバイル事業を開始。2006 年 2 月開始のケータイ総合ポータルサイト「モバゲータウン」(<http://mbga.jp>)は、2009 年 7 月末現在、会員 1,469 万人、月間ページビュー 180 億を超える日本最大級の携帯サイトに成長。2005 年 2 月、東証マザーズ上場、2007 年 2 月東証一部に上場。
<http://www.dena.ne.jp/> <http://www.bidders.co.jp/>

DeNA

●クックパッド株式会社(東証マザーズ 2193)

1998年3月にサービスを開始した日本最大の料理レシピ共有サイトクックパッド(<http://cookpad.com>)及びモバイル版サイト「モバれび」を運営。月間の利用者数は680万人で月間のPVは3.2億。日本人女性30代の4人に1人が毎日の献立決め「クックパッド」を活用しています。
<http://cookpad.com/>



●株式会社クオカプランニング

お母さんの手づくりを「もっとおいしく、もっと楽しく!」することを目的として、ご家庭でのお菓子づくりの材料、道具焼型など3500点を販売。自由が丘、新宿、福岡、高松のリアルな店舗とネット通販、ロフトやハンズでの販売(B to B)の3チャンネルで頑張っています。
<http://www.cuoca.com/>



●株式会社アキブシステムズ

当社のネットワークシステムの技術規格「ボーネット」を活用し、超高速での伝送を実現させる製品を開発。複数のサーバー及びコンピュータを超高速なネットワークで結合し、全体としてコンピューティングのパフォーマンスを格段に向上させることが可能である。
<http://www.akibnetworks.com/>



●株式会社ザクセル

放送局、映画会社、ポスプロ企業、研究所、大学等で使う業務用デジタル・ビデオ記録・再生装置を作成・販売。映像産業では映像の高精細化、高画質化が急速に進み、特に4Kと呼ばれるハイビジョンの4倍の精度の映像が使われて来ている。ザクセルは4Kビデオの記録・再生装置で世界トップ技術の製品を開発している。
<http://www.zaxel.co.jp>



●スパイバー株式会社

慶應大学先端生命科学研究所よりスピニングアウトしたベンチャー企業。炭素繊維に取って代わると言われている「クモの糸」の世界初実用化を目指し、様々な企業と共同研究開発を行う。また、DNA情報記録技術をベースとし、工業利用微生物の権利保護、環境微生物のモニタリングサービス等を提供。
<http://www.spiber.jp/jp/>



●ナイトライド・セミコンダクター株式会社

紫外線LEDの結晶成長技術をコアテクノロジーに、波長375nm以下の高効率ウェハ・チップ・ランプの製造・販売を行っている。紫外線LEDは、センサー、樹脂硬化、空気清浄、医療、バイオ分析用光源の他、RGB白色照明用光源としてアプリケーションが拡大している。
<http://www.nitride.co.jp/>



<http://www.winegura.com/>
TEL:03-5251-3710

〒105-0004
東京都港区新橋2-5-11橋ビル6F
(新橋駅徒歩1分/烏森通り沿い)



講演者・モデレーターのご紹介

● 小林 和男 氏

ジャーナリスト（元 NHK モスクワ支局長）、作新学院大学教授。

1940 年長野県生まれ。東京外語大ロシア語科を卒業後 NHK 記者。ソビエトロシアを担当しモスクワ、ウィーンの特派員、モスクワ支局長を 2 度勤め海外駐在は 14 年。92 年にソ連崩壊の報道で菊池寛賞。93 年ソ連ロシアの客観報道でモスクワジャーナリスト同盟賞受賞。海外ウィークリーや NHK スペシャル「21 世紀への奔流」や「21 世紀の証言」などのキャスター、ラジオタ刊編集長をつとめる。解説主幹を経て作新学院大学特任教授、日本エッセイストクラブ賞審査委員。

サイトウ・キネン財団評議員、下野新聞客員論説委員 08 年ロシア文化への貢献でロシア政府プーシキンメダル受賞。

著書に「エルミタージュの緞帳」（第 46 回日本エッセイストクラブ賞）

「1 プードの塩ーロシアで出会った人々ー」以上 NHK 出版

「白兎で知るロシアーゴルバチョフからプーチンまでー」かまくら春秋社

「狐と狸と大統領ーロシアを見る目ー」（NHK 出版）

最新刊「プーチンと柔道の心」（朝日新聞出版 共編）

● 藤原 洋 氏

株式会社インターネット総合研究所 代表取締役所長

1977 年京都大学理学部卒業・工学博士（東京大学）

日本 IBM、日立エンジニアリングを経て 1985 年（株）アスキー入社、93 年同社取締役、この間郵政省案件基盤技術研究開発会社にて動画圧縮技術の研究開発のリーダー（取締役研究開発本部長）を務め MPEG の標準化と実用化に参画。

1996 年より（株）インターネット総合研究所を設立同社代表取締役に就任（現任）、99 年東証マザーズ第 1 号上場（2007 年よりオリックスの 100% 子会社となる）、この間子会社 2 社を大証ヘラクレス上場、2005 年宇宙・環境・エネルギーベンチャー（株）ナノオプトニクス・エナジーを設立同社代表取締役に就任（現任）。同社は、2009 年 8 月慶応発ベンチャーの電気自動車開発の SIM・ドライブ社の設立に参画。子会社（株）ナノオプト・メディアで 2009 年 6 月から常設型サイエンスカフェの運営を開始し、8 月より INTEROP TOKYO などを買収し、科学技術系のコンベンション事業を開始。

東京大学大学院数理学研究科客員教授、青山学院大学大学院国際マネジメント研究科特任教授、SBI 大学院大学副学長教授を兼務。